

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東
 コード番号 4720 URL http://www.johnan.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 勝己
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,376	—	303	—	348	—	253	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 260百万円(—%) 25年3月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	31.52	—
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,674	4,181	73.5
25年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,169百万円 25年3月期 ー百万円

(注) 当社は、平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,815	—	308	—	357	—	289	—	35.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	8,937,840株	25年3月期	8,937,840株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	884,647株	25年3月期	884,489株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	8,053,286株	25年3月期3Q	8,053,351株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果による円安・株高の進行を背景として、景況感は緩やかな改善を見せているものの、新興国経済の減速を伴った世界経済の下振れリスクと、消費税率引上げ決定等、先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、脱ゆとり教育の及ぼす教育需要に高まりがあるものの、家計の消費力は回復途上であるため、受講単価は減少傾向にあり、受験指導以外の教育サービスの拡充分野が求められております。

このような情勢の中で当社は、乳幼児から社会人までを対象として多様な商品開発を推進し、幅広い顧客層に訴求できる総合教育企業としての新しい事業の構築に注力してまいりました。

先ず今日の我が国経済を担っていく社会人を対象とした資格取得事業と、大学生の就職支援事業「城南就活塾」では、浸透力を高めつつ、高い成果を上げてきております。

その次の世代で当社のコア事業にあたる大学受験部門では、安定した受講者数を確保していると同時に、夏期講習、冬期講習では演習中心の新企画「THE TANREN」が人気を呼び、売上増に寄与しております。

高卒生から小学生までを対象とした個別指導部門では、直営教室の小学生が、この第3四半期ではほぼ倍増し、長期にわたる顧客構成の布石を敷くことができしております。個別指導FC部門でも、教室数の増加と各地域の浸透度アップによって生徒数は着実に増加しております。

映像授業部門では、強いニーズを背景にして校舎展開を加速し、生徒数、売上高ともに増加となっております。

さらにメディア教育のもう一つの旗頭であるeラーニングにおきましても、小中学生のための「城南マナビックス」と乳幼児に向けた「くぼたのうけんWEBスクール」が遠隔地からのニーズに応え、着実に利用者を増やしております。

そして低年齢層の乳幼児教育では、育脳教育の「くぼたのうけん」で安定した顧客を確保しております。なお、当第3四半期連結累計期間において、株式会社ジー・イー・エヌの株式75%を取得したことにより、同社を子会社化し、低年齢層への英語教育システム導入に向けて準備を速めております。また「くぼたのうけん」のカリキュラムを援用している「城南ルミナ保育園立川」は、年度途中での入園希望者もあり、深刻化している待機児童問題軽減の一翼を担っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,376百万円となり、営業利益が303百万円、経常利益が348百万円、四半期純利益は253百万円となりました。

なお、当社は教育関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

総資産及び純資産につきましては、それぞれ5,674百万円、4,181百万円となり、自己資本比率は、73.5%となりました。

流動資産の主な内訳は現金及び預金が1,496百万、売掛金が74百万円、有価証券が50百万円となっております。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産が1,700百万円、敷金及び保証金が826百万円、投資不動産が480百万円となっております。

流動負債の主な内訳は、前受金が370百万円となっております。

固定負債の主な内訳は、退職給付引当金が213百万円、資産除去債務が296百万円となっております。

純資産の主な内訳は、資本金が655百万円、利益剰余金が4,025百万円となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結累計期間業績予想については平成25年11月5日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ジー・イー・エヌの株式75%を取得したことにより当第3四半期連結累計期間から同社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,496,939
売掛金	74,387
有価証券	50,000
商品	37,973
繰延税金資産	74,647
その他	210,297
貸倒引当金	△659
流動資産合計	1,943,585
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	799,900
土地	834,674
その他（純額）	66,273
有形固定資産合計	1,700,848
無形固定資産	
のれん	165,500
その他	114,824
無形固定資産合計	280,324
投資その他の資産	
投資有価証券	269,349
敷金及び保証金	826,366
投資不動産（純額）	480,010
その他	190,446
貸倒引当金	△16,048
投資その他の資産合計	1,750,123
固定資産合計	3,731,296
資産合計	5,674,881
負債の部	
流動負債	
買掛金	28,313
未払法人税等	68,886
前受金	370,510
賞与引当金	8,270
校舎再編成損失引当金	4,808
資産除去債務	5,309
その他	413,786
流動負債合計	899,884

（単位：千円）

当第3四半期連結会計期間
（平成25年12月31日）

固定負債	
退職給付引当金	213,546
資産除去債務	296,193
繰延税金負債	39,143
その他	44,454
固定負債合計	593,338
負債合計	1,493,223
純資産の部	
株主資本	
資本金	655,734
資本剰余金	652,395
利益剰余金	4,025,789
自己株式	△309,420
株主資本合計	5,024,498
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	47,363
土地再評価差額金	△902,493
その他の包括利益累計額合計	△855,129
少数株主持分	12,289
純資産合計	4,181,658
負債純資産合計	5,674,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,376,094
売上原価	3,122,056
売上総利益	1,254,037
販売費及び一般管理費	950,782
営業利益	303,255
営業外収益	
受取利息	2,689
受取配当金	7,498
受取賃貸料	29,700
その他	16,579
営業外収益合計	56,468
営業外費用	
支払利息	84
不動産賃貸原価	8,784
投資有価証券償還損	2,763
営業外費用合計	11,632
経常利益	348,092
特別損失	
減損損失	13,621
校舎再編成損失引当金繰入額	4,085
特別損失合計	17,707
税金等調整前四半期純利益	330,384
法人税、住民税及び事業税	75,684
法人税等調整額	△1,137
法人税等合計	74,546
少数株主損益調整前四半期純利益	255,837
少数株主利益	2,032
四半期純利益	253,804

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	255,837
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	4,224
その他の包括利益合計	4,224
四半期包括利益	260,062
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	260,062
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

販売実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門別	第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
予備校部門（現役高校生）	1,889,629
予備校部門（高校卒業生）	536,889
個別指導部門（直営）	1,146,195
個別指導部門（F C）	167,006
映像授業部門	413,724
デジタル教材・乳幼児教育部門	207,490
その他	15,159
合計	4,376,094

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（2）前事業年度末の貸借対照表及び前第3四半期累計期間の四半期損益計算書

当第3四半期連結累計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末の貸借対照表及び前第3四半期累計期間の四半期損益計算書を参考資料として掲載しております。

①貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,304,605
売掛金	81,063
有価証券	78,215
商品	34,134
繰延税金資産	73,237
その他	210,546
貸倒引当金	△513
流動資産合計	1,781,288
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	817,153
土地	834,674
その他（純額）	80,797
有形固定資産合計	1,732,625
無形固定資産	112,005
投資その他の資産	
投資有価証券	210,040
関係会社株式	31,950
敷金及び保証金	844,721
投資不動産（純額）	482,353
その他	182,211
貸倒引当金	△16,127
投資その他の資産合計	1,735,149
固定資産合計	3,579,779
資産合計	5,361,068

負債の部	
流動負債	
買掛金	17,660
未払法人税等	35,418
前受金	277,763
賞与引当金	21,372
校舎再編成損失引当金	4,273
資産除去債務	1,449
その他	470,855
流動負債合計	<u>828,792</u>
固定負債	
繰延税金負債	39,791
退職給付引当金	190,799
資産除去債務	295,875
その他	30,000
固定負債合計	<u>556,466</u>
負債合計	<u>1,385,259</u>
純資産の部	
株主資本	
資本金	655,734
資本剰余金	652,395
利益剰余金	3,836,411
自己株式	△309,378
株主資本合計	<u>4,835,162</u>
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	43,139
土地再評価差額	△902,493
評価・換算差額等合計	<u>△859,354</u>
純資産合計	<u>3,975,808</u>
負債純資産合計	<u>5,361,068</u>

②四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,123,483
売上原価	2,870,585
売上総利益	1,252,897
販売費及び一般管理費	919,975
営業利益	332,921
営業外収益	
受取利息	1,588
受取配当金	4,770
受取賃貸料	29,900
その他	10,823
営業外収益合計	47,082
営業外費用	
支払利息	19
不動産賃貸原価	8,886
その他	382
営業外費用合計	9,289
経常利益	370,715
特別損失	
減損損失	1,561
校舎再編成損失引当金繰入額	3,916
特別損失合計	5,477
税引前四半期純利益	365,237
法人税、住民税及び事業税	73,002
法人税等調整額	△547
法人税等合計	72,455
四半期純利益	292,782